

# Hello! FUJISEI

No. 108

人生80年時代、夫婦は苦楽を共にし、人生の大半を一緒に過ごすパートナーですが、就職、結婚、出産、住宅取得、子供の進学、定年退職…といったライフイベントを中心にした生活設計の枠にあてはまらない人生を送る人が増えてきています。

内閣府が発表した「平成24年版子ども・子育て白書」によると、婚姻件数は、第1次ベビーブーム世代が25歳前後の年齢を迎えた1970（昭和45）年から1974（昭和49）年にかけて年間100万組を超え、婚姻率（人口千対）もおおむね10.0以上でした。その後、婚姻件数・婚姻率ともに低下傾向となり、1978（昭和53）年以降は年間70万組台（1987（昭和62）年のみ60万組台）で増減を繰り返しながら推移。そして、2010（平成22）年は70万214組（対前年比7,520組減）と前年より減少し、婚姻率も5.5で前年を0.1下回り、過去最低を記録し、1970年代前半と比べると半分近くの水準です。

さらに、生涯未婚率（45～49歳と50～54歳未婚率の平均値で、50歳時の未婚率）を30年前と比較すると、男性は2.60%から20.14%（2010年）、女性も4.45%から10.61%（2010年）へ上昇しています。

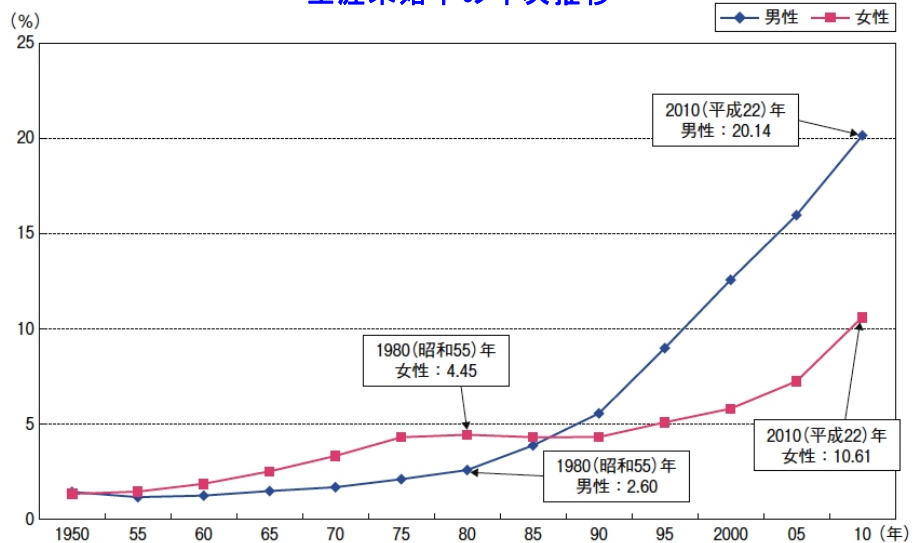
生涯未婚率（45～49歳と50～54歳未婚率の平均値で、50歳時の未婚率）を30年前と比較すると、男性は2.60%から20.14%（2010年）、女性も4.45%から10.61%（2010年）へ上昇しています。

## ライフプランに変化

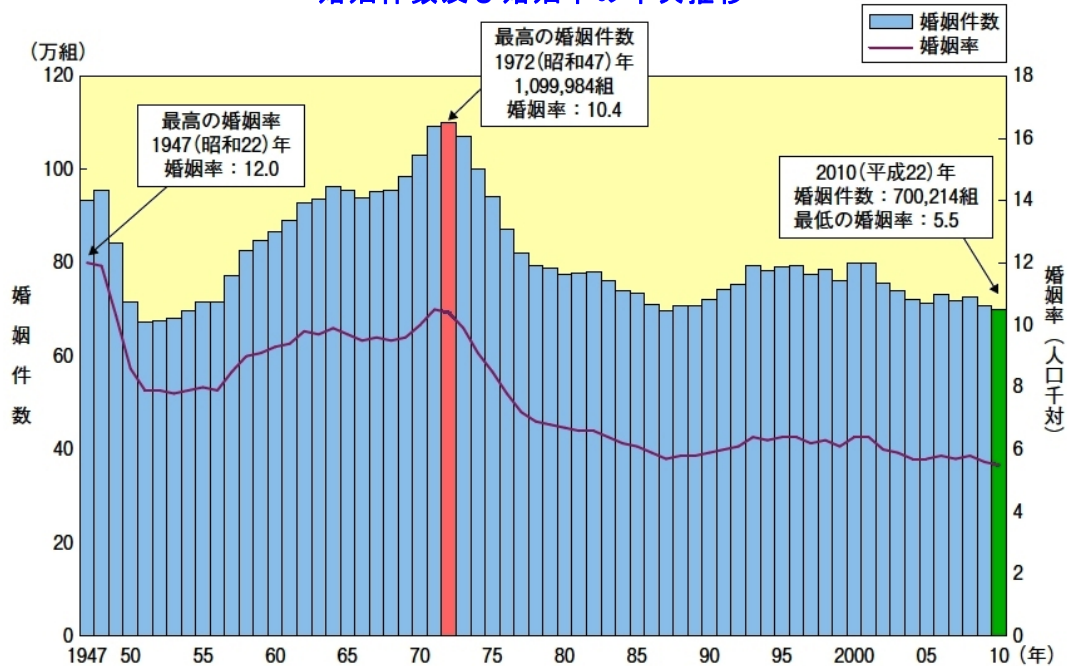
# 男性の生涯未婚率は30年前の10倍の20%

生涯未婚率（45～49歳と50～54歳未婚率の平均値で、50歳時の未婚率）を30年前と比較すると、男性は2.60%から20.14%（2010年）、女性も4.45%から10.61%（2010年）へ上昇しています。

生涯未婚率の年次推移



婚姻件数及び婚姻率の年次推移



内閣府「平成24年版 子ども・子育て白書」より